

1 全国学力・学習状況調査実施状況

(1) 調査期日

令和5年4月18日(火)

(2) 調査内容

小学校(対象学年:6年生) 国語、算数及び児童質問紙調査

中学校(対象学年:3年生) 国語、数学、英語及び生徒質問紙調査

(3) 参加状況(代表値:国語)

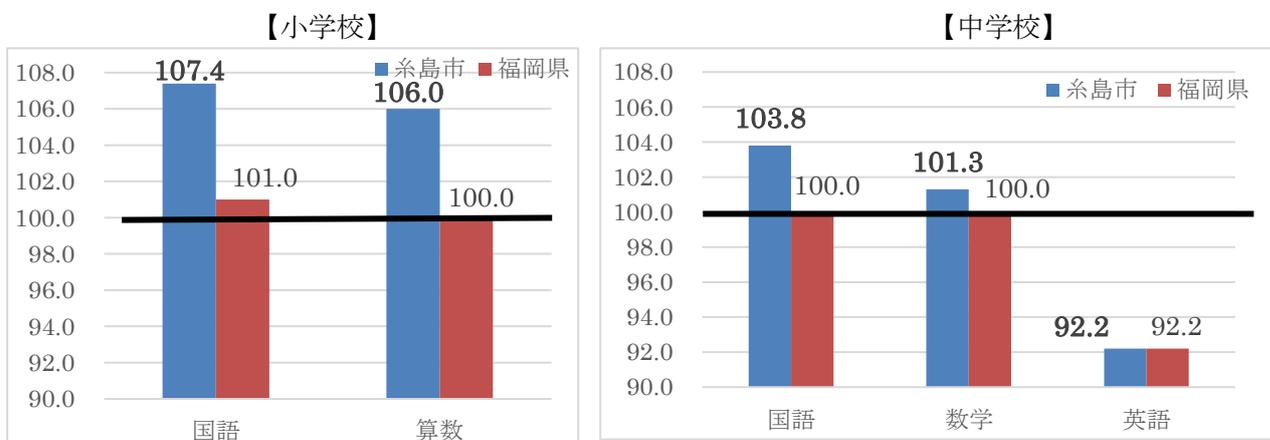
小学校 全国: 964,177人 福岡県: 43,025人 糸島市: 891人

中学校 全国: 892,738人 福岡県: 39,798人 糸島市: 865人

2 平均正答率及び平均正答数(%)

	平均正答率(%)					平均正答数/問題数(問)				
	小学校		中学校			小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語	国語	算数	国語	数学	英語
全国(公立)	67.2	62.5	69.8	51.0	45.6	9.4/14	10.0/16	10.5/15	7.6/15	7.7/17
福岡県(公立)	68	62	70	51	42	9.5/14	10.0/16	10.5/15	7.6/15	7.1/17
糸島市	72	67	72	51	42	10.1/14	10.6/16	10.9/15	7.7/15	7.1/17

3 全国平均を100とした標準化得点(平均正答数より算出)



- 小中学校とも、国語、算数・数学について、全国平均・福岡県平均を上回った。
- 中学校の英語は、全国平均を下回った。

4 結果から見た糸島市の成果と課題(成果を○、課題を▲とする)

- 昨年度の課題であった基本的な知識・技能を問う問題については、正答率が向上している。このことは、習熟度を把握し、学習支援ソフト等を活用した丁寧な知識・技能の定着を図ったことが主な成果だと考える。
- ▲ 中学校の英語について、特に「書くこと」の領域に関わる問題での正答率が低い。
- ▲ 自分の考えを文章で論理的に表す「記述式」の問題での正答率が全国より低いところがあった。対象や目的、条件等を明確にした書く活動に取り組み、書くために必要な知識・技能の定着を図っていく必要がある。

5 児童生徒質問紙全国値との比較

(期待される回答が全国値より多い内容を○、少ない内容を▲とする。)

(1) 小学校

- 今住んでいる地域の行事に参加している。(糸島市 64.1% 全国 57.8%)
- 読書は好きですか。(糸島市 74.8% 全国 71.8%)
- 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたい。
(糸島市 75.0% 全国 72.5%)
- ▲ 自分にはよいところがあると思う。(糸島市 79.8% 全国 83.5%)

(2) 中学校

- 自分にはよいところがあると思う。(糸島市 83.3% 全国 80.0%)
- 将来の夢や目標を持っている。(糸島市 69.9% 全国 65.3%)
- 地域や社会をよくするために何かしてみたい。(糸島市 72.6% 全国 63.9%)
- ▲ 家で自分で計画を立てて勉強をしている。(糸島市 53.2% 全国 55.0%)

6 令和5年度後期に向けた対策・取組

(1) 組織的な学力向上の推進

教育委員会と各学校の校長による「学力向上推進委員会」を開催し、効果の高い取組の共有を図る。

(2) 学習指導の日常的な改善

「指導力向上研修」の実施

- ・糸島市教育センターにおける授業力向上研修
- ・各学校における校内研修
- ・教科等研究会におけるコンサルティング講座
- ・校区事業における小中合同学力向上研修会（特に英語について重点的に行う）